

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 038	提案機関名 全農神奈川県本部
要望問題名	ゲノム評価法や最新の繁殖技術を活用した超迅速高品質和牛生産パッケージ技術の実証試験
要望問題の内容【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】	最近の国際情勢により、県内の畜産農家は過去にない経営環境の悪化に苛まれている。一方で、家畜改良の技術は進歩し、ゲノム評価法を活用することで、若年での能力判定が可能となり、短期間で経済性の高い繁殖和牛群を揃えることが可能となった。従来の方法では、改良を開始してから、県民に和牛食肉として提供するまでには10年以上かかっていたが、ゲノム評価法を始め、OPU(卵胞刺激ホルモン)等の受精卵移植技術を活用することで、高能力繁殖和牛群の作出から、肉牛の出荷までの生産体系を迅速に構築できる可能性がある。そこで、以下の実証検討を要望する。①ゲノム評価法により選抜した高能力繁殖和牛を導入して、OPU等の受精卵移植技術を活用し、ゲノム評価の高い(高い枝肉成績が期待できる)牛群の作出。②その牛群から受精卵を作成し、県内の乳牛に移植。③生産された和牛を食肉市場まで追跡し、最終的な経済性を評価する。乳用種と交雑種の子牛価格が低迷しており、県内の酪農家の経営が危機的な状況に瀕している中、消費者にも独自の安全安心な県内産の和牛が提供できる取り組みとして、養牛農家が活用できる方法について、実証検討をお願いしたい。
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部
対応区分	①実施 ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	昨今、ゲノム評価を活用した効率的な育種改良や優良牛群の整備が各地域で進められており、県内の生産者においてもゲノム評価を効果的に利用している事例があります。 当所では、ゲノム評価の高い繁殖和牛の受精卵を購入し、産子のゲノム評価を行うことで牛群改良に取り組んでいます。ご提案の内容については早急に対応することはできませんが、ゲノム評価の高い牛が生産された際に各種の繁殖技術を利用して体制整備に努めたいと思います。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			